



◆めざす姿 ITS Japanは、日本の社会・個人課題解決に向けた施策の策定・実現に、ITS (Intelligent Transport Systems) \*の技術・サービスの活用を通じて貢献します。



\* ITS JapanにおけるITSの定義  
社会・個人課題解決への貢献を目的とした移動/交通(モビリティ)等における施策・技術・サービスの組み合わせ

◆役員、理事会社・団体、会員 多業種の企業・団体が会員となり、ITSを軸に幅広い分野で活動を推進しています。

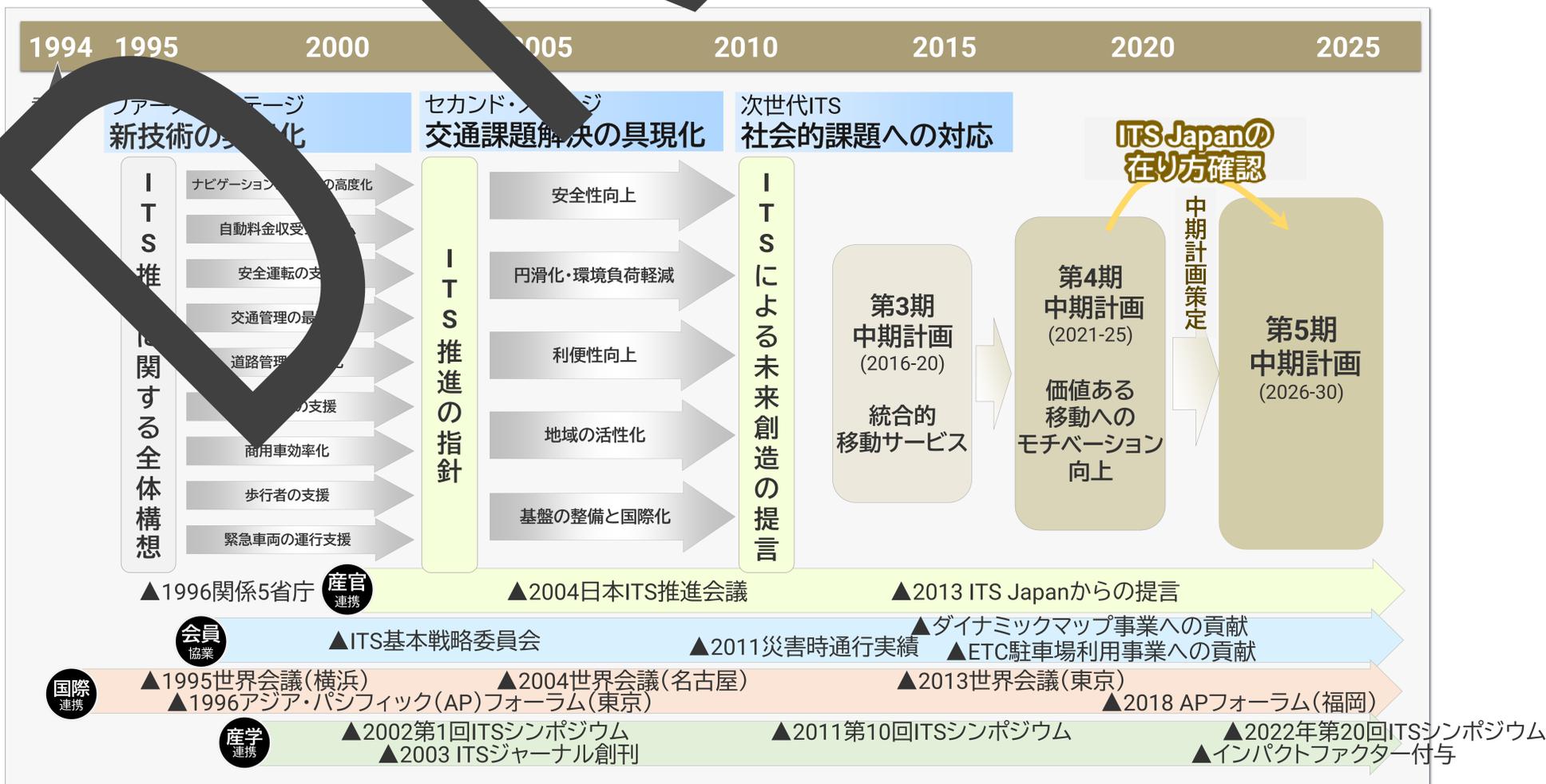
会員数: 244 (2025.5現在<順不同、敬称略>  
正会員: 170 (団体: 19、企業: 151)  
名誉会員: 2 (井口 雅一: 東京大学 名誉教授、高羽 禎雄: 東京大学 名誉教授)  
顧問: 1 (吉本 堅一: 東京大学 名誉教授)  
特別会員: 18  
賛助会員: 53



山本 圭司 会長

- ◆沿革
- ・ 設立: 1994年1月 <任意団体> VERTI (道路・交通・車両インテリジェント化推進協議会)
  - ・ 名称変更: 2001年10月 <任意団体> ITS Japan
  - ・ 法人化: 2005年6月 特定非営利活動法人 ITS Japan

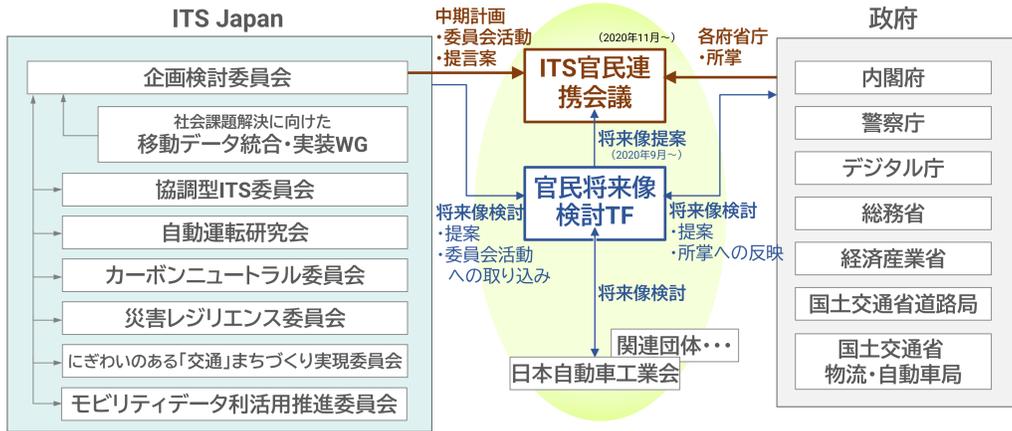
◆取組みの変遷 現在、「ITS Japanの在り方」について改めて確認したうえで、第5期中期計画策定に向けた取組を進めています。





## ◆取組み事例

**産官連携** ITS関係府省庁と連携し、ITS活用による交通課題/社会課題解決をめざします。

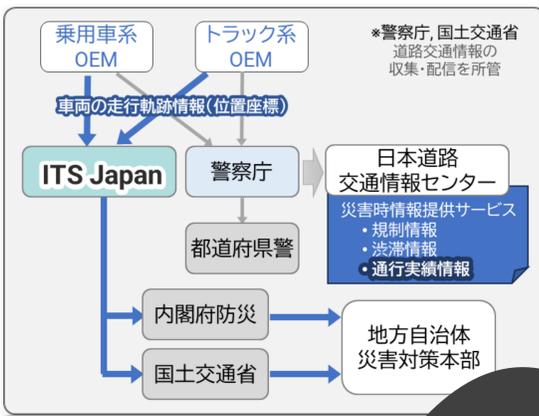


**産学連携** ITSシンポジウムを主催、学との連携を深めるとともに、ITSジャーナルも加え、若手の研究成果発表の機会を創出しています。



ITSシンポジウム2024

**会員協業** 東日本大震災を契機として、会員企業協力により「災害時通行実績情報」の提供を開始しました。2024年1月の能登半島地震でも通行不能箇所の推定や緊急支援物資輸送ルート検討等に活用されました。



能登半島地震での災害時通行実績情報 (2024年1月)

国際的 position アジア太平洋地域/米州/欧州の三極体制をとり、アジア太平洋地域の代表として活動しています。



ITS世界会議の共催3組織

## ■アジア太平洋地域のITS組織

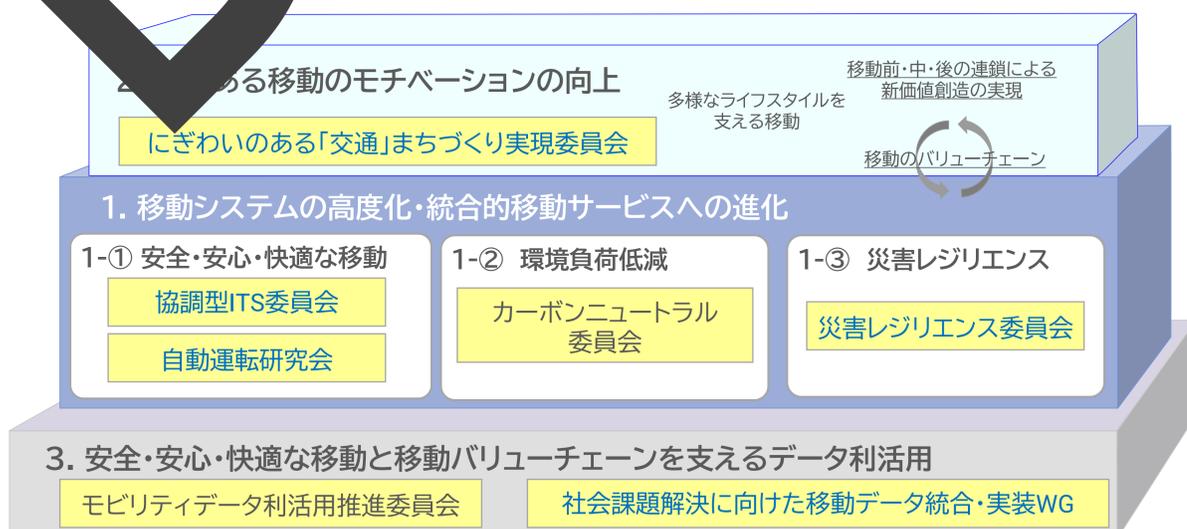


## ◆委員会活動を通じたITS推進のための議論・実証、標準化等の推進

会員企業・団体が委員会(研究会/WG等を含む)活動を通し協調領域での協業を進めています。個社あるいは単一業種では解決困難な社会課題に対し、業界横断的な取り組みを可能とする委員会活動は、ITS Japanならではの取り組みです。

### 第4期中期計画(2023-2025)

第4期中期計画では、社会的課題の解決と個人の自己実現を活動の二本の柱にしています。安全・安心・快適で効率的な移動の提供し、多様なライフスタイルを支える移動のバリューチェーンの実現に貢献すべく、以下のプロジェクト型委員会・研究会・WGで、積極的な活動を展開しています。



※ 青文字の活動は、個別パネルを展示し活動紹介をしています。